

# TEAM「ゼロカーボンいぶり」について

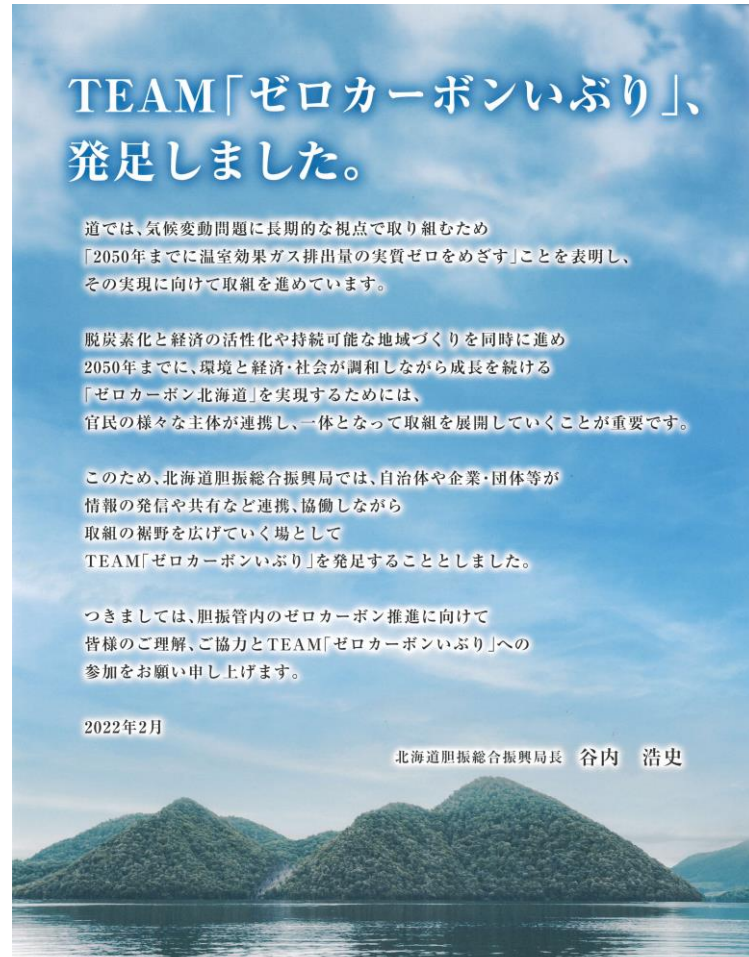
## ～「脱炭素×○○」による共創～

2024.3.7

令和5年度 TEAM 「ゼロカーボンいぶり」セミナー

胆振総合振興局 環境生活課

2023年2月28日 管内の産学官団体等によるネットワークを構築



日本製鋼所M&E株式会社室蘭製作所、一般社団法人北海道LPガス協会胆振支部、いすゞエンジン製造北海道株式会社、白老町、JX金属苫小牧ケミカル株式会社、洞爺湖町商工会、出光興産株式会社北海道製油所、札幌法務局室蘭支局、苫小牧商工会議所、室蘭労働基準監督署、苫小牧バイオマス発電株式会社、豊通スメルティングテクノロジー株式会社、株式会社荏原製作所室蘭事務所、室蘭ガス株式会社、株式会社いすゞ北海道試験場、王子ネピア株式会社苫小牧工場、北海道曹達株式会社、新酸素化学株式会社、株式会社ダイナックス、環境省支笏洞爺国立公園管理事務所洞爺湖管理官事務所、北海道電力ネットワーク株式会社室蘭支店、室蘭地方气象台、月島機械株式会社室蘭工場、北海道電力ネットワーク株式会社苫小牧支店、アイシン北海道株式会社、北海道エコリサイクルシステムズ株式会社、豊浦町商工会、厚真町商工会、北海道石油共同備蓄株式会社北海道事業所、トヨタ自動車北海道株式会社、會澤高圧コンクリート株式会社、株式会社鈴木商会、エア・ウォーター北海道株式会社室蘭産業・医療営業所、エア・ウォーター北海道株式会社苫小牧産業・医療営業所、株式会社テツゲン室蘭支店、北海道電力株式会社道南支社、北海道電力株式会社苫小牧支社、安平町、苫小牧ガス株式会社、株式会社苫東、株式会社栗林商会、伊達商工会議所、石油資源開発株式会社北海道事業所、北海道糖業、株式会社道南製糖所、三菱日酸北海道、株式会社苫小牧工場、登別商工会議所、壮瞥町、イワクラ、国土交通省北海道開発局室蘭開発建設部、国土交通省暑、豊浦町、王子製紙株式会社苫小牧工場、函館税関苫小牧製造部室蘭事業所、スマートパワー株式会社北海道営業所、室蘭海上保安部、北海道パワーエンジニアリング株式会社苫小牧事業所、株式会社サニックスエナジー、北海道電力株式会社伊達発電所、国立大学法人室蘭工業大学、苫東コールセンター株式会社、清水鋼鐵株式会社苫小牧製鋼所、室蘭商工会議所、日本軽金属株式会社苫小牧製造所、北海道電力株式会社苫東厚真発電所、岩倉建設株式会社、室蘭市、むかわ町、日本製鉄株式会社室蘭製鉄所、苫小牧市、北海道労働局苫小牧公共職業安定所、室蘭税務署、苫小牧埠頭株式会社、登別市、厚真町、合同酒精株式会社、北海道漁業協同組合連合会、日本CCS調査株式会社、日本製紙株式会社白老工場、道南バス株式会社、あつまバス株式会社、伊達市、五洋建設株式会社、室蘭まちづくり放送株式会社、むかわ町商工会、壮瞥町商工会、北海道住電スチールワイヤー株式会社、北海道コカ・コーラボトリング株式会社、苫小牧労働基準監督署、安平町商工会、日光印刷、苫小牧港開発株式会社、株式会社シーヴィテック北海道、有限会社北翔建設、北海産業株式会社、トヨタカローラ苫小牧株式会社、登別ガス協同組合、苫小牧港管理組合、拓北電業株式会社室蘭支店、日鉄テクノロジー株式会社、室蘭ユースホテル、北電興業株式会社苫小牧営業所、株式会社ローソン苫小牧事業所、学校法人片柳学園日本工学院北海道専門学校、株式会社上田商会、パナソニックITS株式会社、株式会社レンテック、株式会社ヨシダ、とまこまいコミュニティ放送株式会社

# 118

製鋼室蘭特殊鋼株式会社、洞爺湖町、日鉄セメント株式会社、大陽DIC北日本ポリマ株式会社北海道工場、白老町商工会、株式会社北海道運輸局室蘭運輸支局、函館税関室蘭税関支署、苫小牧税務税関支署、大山春雪さぶーる株式会社早来工場、ENEOS株式会社

**胆振地域で取組む脱炭素。**

**振興局、TEAM「ゼロカーボンいぶり」の役割は？**



## 地域脱炭素ロードマップ

～地方からはじまる、次の時代への移行戦略～

国・地方脱炭素実現会議

令和3年6月9日

地域脱炭素は、脱炭素を成長の機会と捉える時代の**地域の成長戦略**であり、**自治体・地域企業・市民など地域の関係者が主役**になって、今ある技術を適用して、再エネ等の地域資源を最大限活用することで実現でき、経済を循環させ、防災や暮らしの質の向上等の**地域の課題をあわせて解決し、地方創生に貢献**できる。

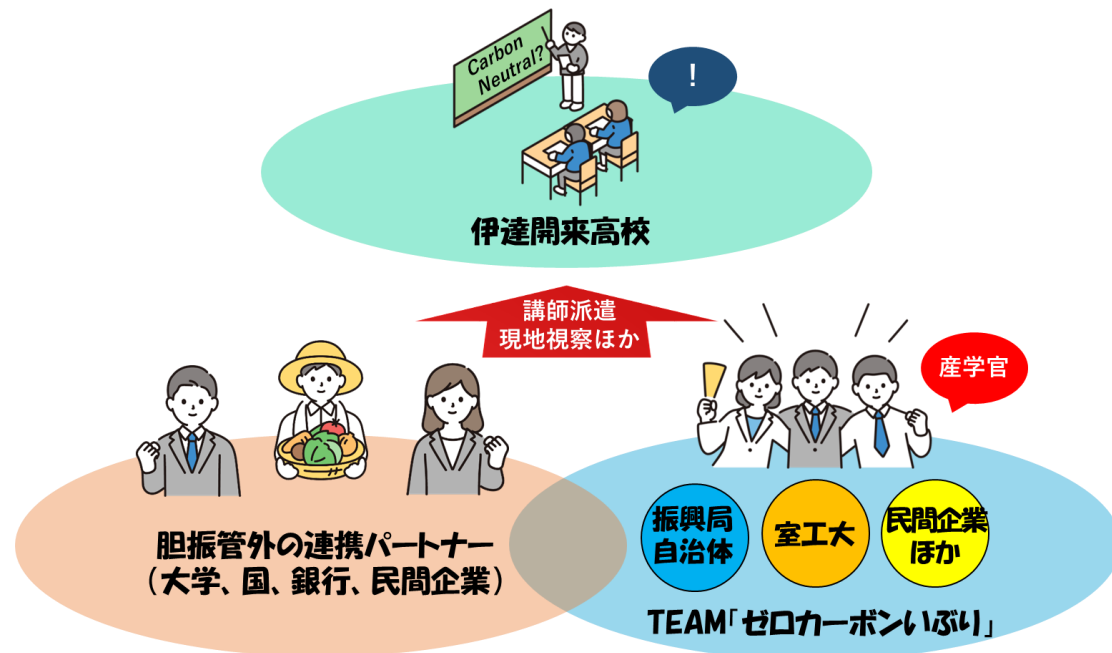
「1. ロードマップのキーメッセージ（2）」より抜粋

- 共創 (Co Creation)
- 脱炭素 × ○○

- 共創 (Co Creation)
- 脱炭素 × ○○

▶▶ どのように生み出すか？場を提供するか？結びつけるか？

## ゼロカーボンカレッジ構想 (2023年モデル)



脱炭素教育の管内水平展開をきっかけに、  
**「産学官」**から**「民」**へのアプローチ



- 共創 (Co Creation)
- 脱炭素 × ○○

▶▶ どのように生み出すか？場を提供するか？結びつけるか？



これまで3回開催済み  
2024年度も同回数以上の開催を想定

チーム交流会「いぶりCAFE」



写真は札幌で開催したマッチング会の様子  
(環境省主催,2022年度)

2024年度に特定の市町を対象に開催予定

胆振版地域脱炭素マッチング会

地域内だけに閉じず、「内部(地域課題)」と「外部(ソリューション)」のネットワーキングとマッチング

## ■ チーム交流会「いぶりCAFE」をきっかけに、胆振地域にて脱炭素行動促進アプリの実証が実現

 トインクス  
ITで、感動を、ともに。

 JYURI  
Jyukanryo Research Institute Inc.

 ZERO CARBON HOKKAIDO

 ゼロカーボンいぶり  
Zero Carbon Iburu

PressRelease

2024年1月22日

北海道胆振地域にて脱炭素行動促進アプリの実証を開始

株式会社トインクス  
株式会社住環境計画研究所  
北海道胆振総合振興局  
北海道行動デザインチーム

株式会社トインクス プレスリリース(抜粋)  
<https://www.toinx.co.jp/2024/01/22/news20240122a/>

